



Kesennuma City Hospital

看護職員
募集案内



“やりたい”が
見つかる
“叶えたい”を
叶える



気仙沼市立病院・気仙沼市立病院附属本吉医院

Interview 先輩看護師からのメッセージ

新人看護師(プリセプティ)



急性期一般病棟
佐藤さん
宮城県気仙沼市出身
2025年入職

幅広い診療部門、教育にも熱心なので挑戦しがいのある病院です

祖父が癌で入院した際、看護師の方に親身になって対応をしていただいたことをきっかけに、私も同じ道に進みたいと思い、入職しました。

当院は気仙沼地域の中核病院ですが、救急告示病院、災害拠点病院、臨床研修病院でもあり、災害時や救急医療でもカバー力が高いのが強みです。急性期病棟から回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟も併設し、一貫した治療・支援体制が整っており、入院時から退院後の生活を視野に入れたケアが実践できます。総合患者支援センターもあり、地域で暮らす人々のニーズに合った医療を提供できるので、看護師としても挑戦しがい、働きがいのある病院です。

また、新人教育にも力を入れていて、のびのびと成長できる環境が整っています。今の目標は効率よく業務を進めること、そして患者さんに寄り添って、満足していただける看護をできるようになることです。



勤務スケジュール 日勤、夜勤(2交代、3交代)の3つの勤務時間があり、チームでシフトを組んで対応します。

日勤の場合

- 8:30 受け持ち患者の情報収集、朝礼参加
CT、レントゲン患者の移送、点滴準備・実施、
各チームカンファレンス、申し送り
- 9:00 内服準備、清潔援助
- 10:00 受け持ち患者へ挨拶、
バイタル測定・状態観察、必要な処置
- 11:30 血糖測定
- 12:00 昼食の配膳・食事介助・下膳、口腔ケア
- 13:00 昼休憩
- 14:00 午後の点滴準備・実施
- 15:00 おむつ交換
- 16:00 申し送り
- 17:15 退勤時間



休日の過ごし方

祖母の家が近いのでよくみんなでごはんを食べて、2匹の猫と遊んでいます。家族や友達と出かけることも多く、旅行に行くのも良いリフレッシュになります。



気仙沼のここが好き!

気仙沼は、海も山もあって自然が豊か!だから美味しいものがたくさんあります。私が好きなのは海の幸、特にサンマです。大島の海もとてもキレイなのでドライブに行きます。

夜勤の場合

夜勤に慣れるまではプリセプターや指導スタッフと一緒に組みます

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 16:00 受け持ち患者の情報収集 16:30 内服準備、点滴準備 17:00 血糖測定・インスリン注射準備 18:00 点滴追加、夕食の配膳、
食事介助、下膳、口腔ケア 20:00 バイタル測定・状態観察、
処置、眠前薬の投与 21:00 消灯 22:00 注射実施、点滴追加、おむつ交換 23:00 巡回 0:15 申し送り(3交代時) 0:45 3交代の場合、退勤時間 | <ul style="list-style-type: none"> 0:15 受け持ち患者の情報収集(3交代時) 0:45 内服準備、注射の確認、
血糖測定・インスリン注射準備 2:00 巡回、点滴追加 5:00 おむつ交換 6:00 採血、検尿、血糖測定・
インスリン注射準備、注射・点滴実施 7:00 朝食準備、インスリン注射の実施 7:30 配膳、食事介助 8:00 下膳・口腔ケア 9:00 退勤時間 |
|--|--|

新人看護師の仕事への想いと現場での様子を紹介します。
新人看護師(プリセプティ)を指導するプリセプターと看護部長からは
それぞれの立場で看護職をめざす皆さんへの応援メッセージをお届けします。

プリセプター(先輩看護師)



回復期リハビリテーション病棟
千葉さん
宮城県気仙沼市出身
2020年入職

プリセプティをチームでサポートしながらともに成長できる喜びを感じています

プリセプターは、プリセプティ(新人看護師)が看護師として成長していけるよう、教育目標や年間スケジュールを基に、日々の実践の状況も考慮しながら指導内容の計画を立て、業務の指導やサポートをします。勤務時間が合わないこともあるので、計画内容は私だけでなくチームで共有し、継続的に指導しています。私自身プリセプターは初めての経験で難しさもありますが、知識や技術、考えを言語化して伝えることは復習にもなり、一緒に成長できると実感しています。

私も新人の頃は戸惑うばかりでしたが、先輩看護師は頼もしく、優しく声をかけて教えていただき、新しいことができるようになって一緒に喜んでくれました。それが次へのモチベーションにつながっていたので、私もまずは自分が手本となって見せたいと、経験を通して、できなかったこと・失敗した経験を学びとし、成功体験を重ねながらプリセプティの成長につなげられたらと考えています。

のびのびと安心して学べるようにしっかりサポートします

笑顔と思いやりを忘れずに「来て良かった」と思ってもらえる看護を

当院は、地域唯一の急性期病院、小児・周産期医療を支える病院として地域の皆さんに長きにわたってご利用いただけてきました。地域の高齢化が進んだこともあり、平成29年の新築移転開院のタイミングで回復期リハビリテーション病棟、令和6年には本吉病院の入院機能再編で地域包括ケア病棟を設置しました。患者さんのADL低下を防ぎ「ちょっと入院、ずーっと在宅」を実現するため、地域と連携をしながらリハビリや退院支援にも力を入れてきました。

看護部が心がけているのは、患者さんやご家族に寄り添い、丁寧に話を聞き、どんなニーズがあるのかを知ることです。そしてチームや多職種連携で24時間365日途切れることなく、想いに寄り添った看護を提供することが患者さんの満足度向上につながり、ひいては看護職としてのやりがいにもつながるのだと思います。

当院では年間を通して研修制度があり、各部署の新人の状況に合わせ、スタッフ全員が支えていく風土も築かれています。笑顔と思いやりのある看護、「気仙沼市立病院に来て良かった」と思ってもらえる病院の実現に向けて、私たちと一緒に取り組んでみませんか。

看護部長



看護部長
水戸 恵美子さん
宮城県気仙沼市出身
1991年入職

Schedule 新人看護職員1～2年目スケジュール

入職後は合同オリエンテーション研修、看護部対象の集合研修をはじめ、習熟度に合わせて様々な研修があり、病院全体で新人看護職員が職場に対応できるような体制をとっています。

4月／集合研修 感染防止



4月／集合研修 他部署研修



4月／おむつ研修



8月／気管内挿管介助・吸引研修



2年目／ミーティング研修



2年目／ケーススタディ発表会



1年目

4月 5月 6月・7月 8月・9月 10月・11月・12月・1月 2月・3月

- 新規採用者
オリエンテーション
- 集合研修
- 看護部補足研修
- 輸液ポンプ・
シリンジポンプ研修
- 褥瘡研修
- フォローアップ研修①
●輸血研修
- 気管内挿管介助・
吸引研修
- フォローアップ研修②
- フォローアップ研修③
●KYT研修、がん化学療法研修
- 入退院支援研修

4月／移乗・移動研修



5月／輸液ポンプ・シリンジポンプ研修



7月／輸血研修



11月／がん化学療法研修



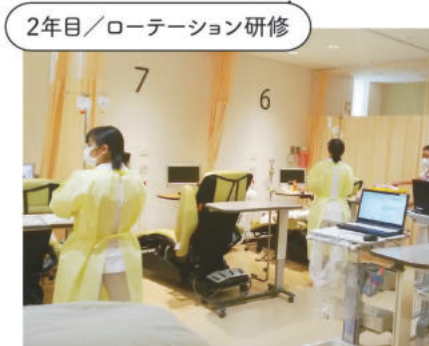
- フォローアップ研修④
●看護部長から修了書授与

2年目

5月・6月・7月 8月・10月 11月・1月

- ケーススタディ
オリエンテーション
- ミーティング研修①
- ローテーション
研修オリエンテーション
- ローテーション研修
- ミーティング研修②
- ケーススタディ発表会
- ミーティング研修③

2年目／ローテーション研修



2年目／ローテーション研修 GW



オリジナルのサポート体制 院内教育プログラム

キャリア開発ラダーを導入しています。臨床看護実践能力と組織的役割遂行能力に段階を設け、各段階に応じた到達目標を設定し、自己研鑽や人材育成をするために活用しています。

ラダー表 毎年評価

- 自己の振り返り
- 自己の方向性
- なりたい自分
- なりたい助産師・看護師
- 成長のものさし
- 課題レポート

目標管理 目標管理シート

- キャリアカウンセリング
- 面接
- 組織のニーズ
- 個人のニーズ
- 個人ファイル

現任教育の 3本柱

- 院内研修
- 院外研修
- 学会
- 院外活動
(授業、地域講習会)
- 自主研修

資格取得をサポートしています キャリアアップについて

認定の資格をとることで専門性を極め高度な知識と技術を身につけることができ、看護職を続ける中でのやりがいにもつながります。そんなチャレンジをしたい方に当院では、資格取得を助成(研修中の給与補償、資格取得に必要な費用分を負担)します。



Department 部門紹介

外来 ※産婦人科



安全な出産を迎えられるように助産師と看護師がチームとなって、宮城県北部から岩手県南エリアの出産をサポートしています。母子ともに元気に出産を迎えた時は本当に嬉しく、やりがいを感じます。そのためにも、産婦さんにとって「いいお産」になるよう、バースプランを実現し、バースレビュー（出産体験の振り返り）を充実させることを日々心掛けています。

病棟以外にも、市の乳幼児検診への参加や小中学校でのプレコンセプションケア（包括的性教育）、救急隊向け分娩助産講義など地域の産科を守るために活動の場を広げており、スキルアップを目指せる職場です。

地域包括ケア病棟



急性期治療を経過した患者さん、在宅や施設で体調を崩した方を受入れ、もとの生活の場へ戻れるよう医療ケアを提供しています。

元の生活に戻るため、その人らしく最期まで暮らせるように、治療と並行して患者さん一人ひとりに合わせた摂食支援や生活リハビリを実施しています。適切な支援になるよう、在宅復帰計画の情報を多職種で共有し、患者さん個人の思いをくみ取り、やる気を喚起するために傾聴・声がけを大切にしています。また、ご家族の支援としてレスパイト（※）の受入れも行っています。

年齢を問わず、病気や障害があっても安心して暮らせるように医療面でのサポートを行う非常にやりがいのある病棟です。

（※）看護・介護などを一時的に代替しリフレッシュしてもらうこと。

回復期リハビリテーション病棟



回復期の患者さんが家庭や社会復帰を目標に個別集中したリハビリを行う病棟です。心理・社会・経済的に問題が生じやすい時期なので、様々な専門知識を持った医療スタッフがチームを組んで、退院後の生活にむけての支援を行っています。特に看護師は患者さんの自立度に合わせ、病棟での日常生活動作訓練や内服・食事などの生活援助、カンファレンス・家族面談を行い、地域の介護サービススタッフと連携する役割を担っています。大腿骨の骨折や脳血管障害を発症し入院した患者さんが意欲的にリハビリに取り組み、歩行などの目標を達成して嬉しそうにしている姿を見るとうれしく、やりがいを感じます。

本吉医院・訪問看護



本吉医院を起点に16キロ圏内の患者さんを対象に訪問看護（医療的ケア、療養指導、生活支援、精神的サポート）と訪問サポートを行っています。「家にいたい」「家で看たい」という患者さんやご家族の想いに寄り添い、その人らしい健康と暮らしを支える日々は地域医療への貢献を実感できます。在宅療養継続には多職種連携が必要不可欠。チーム全員が患者さんの状態を正確かつタイムリーに共有するためにアプリなども導入しています。「待ってたよ」の声を励みに、これからも一人ひとりに寄り添い、思いやりの心で接し、安全・安楽なケアの提供を目指します。

Specialist 認定看護師について

認定看護師とは

公益社団法人日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、特定の看護分野において習熟した看護技術と知識を有することを認められた看護師のことをいいます。高度化・専門分化が進む医療現場において看護ケアの広がりや看護の質の向上を目的としています。認定看護師になるには、通算5年以上の実務研修を経て教育機関での教育を受け、認定審査にパスする必要があります。

気仙沼市立病院では、感染管理、皮膚・排泄ケア、緩和ケア、がん化学療法の4つの分野に6名の認定看護師がおり、各分野で実践・指導・相談の役割を担い、部署を超えて日々活躍しています。

Interview 資格を取得した先輩たちの声

感染管理認定看護師



星さん

宮城県気仙沼市出身
1989年入職

感染管理はコミュニケーションが重要 院内外の信頼づくりが欠かせません

感染管理認定看護師資格を取得したのは10年ほど前。他の分野と違い「对患者」ではないことが多いのですが、未知の微生物に対する戦いに興味を持ち挑戦しました。当時は院内耐性菌やインフルエンザ、ノロウイルスなどの対策が主流でしたが、その後、新型コロナウイルス感染が拡大。看護部をはじめ、全スタッフの協力のおかげで乗り切れたと思います。コロナ禍を通じ、感染管理の成功には病院内はもちろん、地域との関わり、円滑なコミュニケーションや信頼関係が重要であると痛感しました。経験を活かし、地域での感染症対策等を、地域のみなさんとともに築いていきたいです。

皮膚・排泄ケア認定看護師



小野寺さん

神奈川県横須賀市出身
2010年入職

信頼される看護師、 医療・介護・福祉をつなげる顔に

ストーマケアなどは生活全般に関わることであり、相談しにくい部分でもあります。だからこそ患者さんに信頼してもらえる知識と技術を持つことが大切です。新人の頃、ストーマケアがうまくできない患者さんについて皮膚・排泄ケア認定看護師に相談したことがありました。すぐに問題解決し、患者さんの信頼を得ているのを目の当たりにして、認定看護師を目指しました。高齢化が進む今、病気だけでなく、生活や患者さんの人生観も理解した上での看護が必要です。得意なWOC分野を活かし、医療・介護・福祉を横断的につなげられる顔になれるように頑張ります。



三浦さん

宮城県南三陸町出身
2006年入職

DMAT

災害拠点病院である当院では、養成研修を受けてDMAT隊員になることができます。普段は救急室に所属し、救急車やドクターヘリで救急搬送されてくる患者さんに対応していますが、災害発生時はチームを組んで被災地で医療活動を行います。2024年の能登半島地震の際にも活動しました。DMATは災害発生直後の超急性期に被災地に迅速に入り、医療を展開し、他のDMATと協働することで、被災地域から圏外への広域搬送などの大きなミッションも可能にします。

近年は、地球温暖化を背景に自然災害が頻発し、新型コロナウイルスなどの新興感染症対応も活動に加えられるなど、活動が多岐にわたります。災害時により迅速に活動できることは人命を救うことにつながります。災害や感染症などで医療が届かずに悲しい思いをせずに済むように、被災者に寄り添う活動をしていきたいと思っています。

1 神明崎・浮見堂



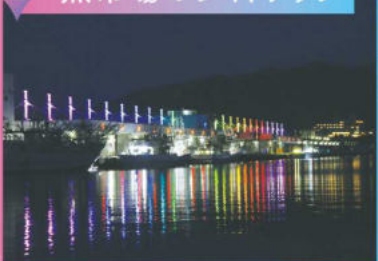
遊歩道から
気仙沼湾を
一望できるスポット

4 しびたち 鮪立漁港



映画のロケ地にも
なった港町は
美しい海の景色と
自然が広がります。

2 魚市場のライトアップ



気仙沼湾を
彩るライトアップは
季節や時間によっても
楽しめます。

6 道の駅 大谷海岸



ここに行けば
気仙沼産の
食材や物産品を
GETできますよ。



3 気仙沼湾横断橋 「かなえおおはし」



小田の浜海水浴場



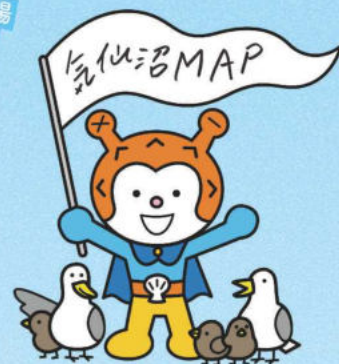
気仙沼市立病院附属 本吉医院



本吉
小泉海岸IC

全国でも珍しい
大型のアーチ橋。
海の上を渡っているような
気持ちになれるかも…?

5 大島大橋



気仙沼市観光キャラクター
「海の子 ホヤぼーや」

気仙沼市立病院

〒988-0181 宮城県気仙沼市赤岩杉ノ沢8-2
TEL 0226-22-7100(代表) FAX 0226-22-3121

交通 ……………

- 気仙沼線BRT「気仙沼市立病院駅」より徒歩約1分
- 気仙沼線BRT「不動の沢駅」よりタクシーで約8分
- JR「気仙沼駅」よりタクシーで約10分(R45経由)
- 三陸道「気仙沼中央IC」より車で約4分



<https://www.kesenuma-hospital.jp/>

気仙沼市立病院

気仙沼市立病院附属 本吉医院

〒988-0382 宮城県気仙沼市本吉町津谷明戸222-2
TEL 0226-42-2621(代表) FAX 0226-42-2625

交通 ……………

- 気仙沼線BRT「本吉駅」より徒歩約4分
- 三陸道「小泉海岸IC」より車で約4分



<https://www.kesenuma.miyagi.jp/mt-hospital/>

気仙沼市立病院附属本吉医院

